

別紙様式 2

授業科目名	子どもの生活と福祉	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	基礎教育科目	開講時期	後期（9月6日～1月26日）
学部・学科等	子ども生活学部	曜日	火曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	3限（13:05～14:35）
標準対象年次	3-4学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	宇都宮共和大学長坂キャンパス
担当教員名	石本真紀		
電話番号（代表者名）	028-649-0511 （学務課 須藤）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 「子どもの生活と福祉」では家庭の生活実態が子どもの育ちに与える影響について考える。現代社会における家庭を取り巻く社会情勢や福祉ニーズについて、子ども家庭福祉制度及び関係法に照らし合わせて理解を深める。</p> <p><前提とする知識・経験> 特になし</p> <p><授業の具体的な進め方> 配布する資料をもとに講義形式で進める。事前学習として調べた内容をもとに、グループ内で発表しディスカッションを行う。子どもと家庭を支援する場の訪問も予定している。</p> <p><授業計画> 第1週 少子高齢社会の現状 第2週 子どもを育てる「家庭」の今と未来 第3週 子どもの権利保障の歩み 第4週 児童福祉施設等を利用する子どもの育ち（1） 第5週 児童福祉施設等を利用する子どもの育ち（2） 第6週 児童福祉施設等を利用する子どもの育ち（3） 第7週 地域で暮らし続けるために(1) 第8週 地域で暮らし続けるために(2) 第9週 地域で暮らし続けるために(3) 第10週 子どもや若者の育ちを支えるということ(1) 第11週 子どもや若者の育ちを支えるということ(2) 第12週 若者の自立支援 第13週 地域における社会資源 第14週 地域における他職種連携、ネットワーキングの実際 第15週 子どもの福祉問題と支援</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> ・教科書 なし ・参考書 山野則子『子どもの貧困調査 子ども生活に関する実態調査から見えてきたもの』明石書房 杉田真衣・谷口由希子・松本伊智朗編『大人になる・社会をつくるー若者の貧困と学校・労働・家族（シリーズ・子どもの貧困4）』明石書房</p> <p><成績評価法> ・学習内容の理解（20%：毎回の授業で振り返りシートに記入し、提出する） ・授業への参加（30%：グループ内で自分の意見を発表する、他者の発表を聴く） ・レポート（50%：専門用語を使用し、根拠を示して自らの意見を表明できているか）</p> <p><教員からのメッセージ> 全ての子どもや若者がいきいきと幸せに暮らすために何が必要か、私たちにできることは何かについて学び合ひましょう。</p>		